

議席 番号	4	受付 番号	1	令和 6 年 5 月 29 日 午前 8 時 30 分 受 付
----------	---	----------	---	------------------------------------

令和 6 年 5 月 29 日

四 万 十 町 議 会 議 長 味 元 和 義 様

四 万 十 町 議 会 議 員 林 健 三

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
南海トラフ巨大地震の備え	1. 災害時に孤立する地域はどれくらいあるのか	町長
	2. 山手崩壊、土砂流出、地滑りはどれくらいあるのか	
	3. 水道施設の耐震化、排水管路に被害があった場合の代替手段の確保は	
	4. 大正橋地区の赤鉄橋の水道移設はいつやるのか	
	5. 食料、トイレ等はどうするのか（地元建設業者等との連携）	
	6. 二輪隊（オートバイ）編成は出来ているのか	
	7. 携帯、衛星通信、アマチュア無線の活用は（町内のアマチュア無線の数を把握しているか）	
	8. 車中泊の研修は	
	9. 罹災証明、被災証明の勉強会はやっているのか	
	10. 仮設住宅の用地確保について	
町有林管理について	1. 町有林の面積は	町長
	2. 令和6年度の間伐、新植等の施業計画及び進捗状況は	
	3. 境界等はどうしているのか	
	4. 大正地区の百年の森の作業道の箇所、間伐の回数 は、将来的にどれくらいの残存木を残すのか	
	5. 残りの町行造林の契約面積と今後の対策は	

議席 番号	10	受付 番号	2	令和 6 年 5 月 29 日 午前 8 時 32 分 受 付
----------	----	----------	---	------------------------------------

令和 6 年 5 月 29 日

四万十町議会議長 味元 和義 様

四万十町議会議員 中 屋 康

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
人口減対策について	1、有識者グループ「人口戦略会議」が今後30年間に「若年女性人口」が半減することにより「消滅可能性自治体」として公表した中に、本町も該当と分類されている。トップの受け止めと、これからの対応策について考えを聞く。 2、現在、人口減少対策として以下の施策等が実施されている。「定住、移住、地域おこし協力隊活用、婚活推進事業」など、それぞれの対策について、これまでの実績成果を聞く。 3、各課に横断しての取り組みが展開されているが、庁内において、人口減対策に特化した体制の構築をする考えはないか聞く。	町長
地域包括ケアシステムについて	1、2025年問題に向けてケアシステムの構築が進められてきたが、本町の体制整備は万全の状態か。 2、ケアシステムの要となる包括支援センターの体制整備状況について聞く。	町長
大正橋の適正化について	1、令和5年度において、大正橋の適正化に向けた判断用基礎資料作成のための調査が実施されたが、その結果と今後の進め方について聞く。 2、調査如何にかかわらず、景観保持と耐用性を維持するため、「塗装」を急ぐべきだが、計画有無の考えを聞く。	町長

議席 番号	6	受付 番号	3	令和 6 年 5 月 30 日 午前 10 時 26 分 受 付
----------	---	----------	---	-------------------------------------

令和 6 年 5 月 30 日

四 万 十 町 議 会 議 長 味 元 和 義 様

四 万 十 町 議 会 議 員 山 本 大 輔

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
自治体ライドシェアについて	自治体ライドシェアが2024年4月に条件付きで解禁されたがその内容とは。	町長
	町としての方針について問う。	
	モビリティ人材育成について問う。	
大規模災害時の対応について	高幡消防組合間同士の連携について問う。	
	自衛隊派遣要請要件について問う。	
	消防隊員の確保について問う。	
	小型携帯電話基地局、フェムトセルの設置進捗状況について問う。	
	衛星インターネット接続サービス、スターリンクについて問う。	
防犯カメラの設置・支援について	公共の防犯カメラの設置状況について問う。	町長 教育長
	教育現場への防犯カメラ設置状況について問う。	
	民間への防犯カメラ設置支援について問う。	
図書館・美術館施設について	現施設の状況について問う。	町長 教育長
	トイレの改修について問う。	

[illegible]

令和 6 年 6 月 3 日

四 万 十 町 議 会 議 長 味 元 和 義 様

四 万 十 町 議 会 議 員 下 元 真 之

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
行政評価の考え方	①約300の行政事業のうち毎年度、約60事業を選定して行政評価を実施しているが、事業の撤退を判断する場合に機能しているか考え方を問う	町長 教育長
	②指定管理者の行政評価について、現状と今後の工夫を問う	
町内出生数60人時代の学校経営	①築36年の東又小学校を大規模改修し長期的に使用する方向性が明確に示された形だが、築50年が近づく窪川小学校や築55年を経過した十川小学校・十川中学校の校舎をどうしていくのか方向性について考え方を問う。	町長 教育長
住宅の断熱に関する制度改正	①2025年の制度改正について、認識状況と行政の立場での制度への対応の変化や考え方を問う	町長 教育長
	②公共住宅整備事業や中間管理住宅整備事業について、今後の取り組みとこれまでの住宅をどのような状態(リフォーム工事の取り組みなど)にしていくか、考え方を問う	
	③一般住宅への広がりに対する補助金の考え方と推進の重要度を問う	
	④学校施設の断熱に対する考え方を問う	

議席 番号	13	受付 番号	7	令和 6 年 6 月 3 日 午前 9 時 25 分 受 付
----------	----	----------	---	-----------------------------------

令和 6 年 6 月 3 日

四 万 十 町 議 会 議 長 味 元 和 義 様

四 万 十 町 議 会 議 員 佐 竹 将 典

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
倒壊しそうな建物について問う	この倒壊しそうな建物は取り壊される予定があるのか問う。	町 長
	住民からこの建物の周りに防護ネットをつけて欲しいとの要望があるが可能か問う。	
	この倒壊しかけた家の横の道はいつ通行できるようになるのか問う。	
移動支援サービスについて問う	移動支援サービスはいつから始まったサービスなのか、どのようなサービスなのか問う。	町 長
	現在の利用者数、運転手の登録者数を問う。	
	移動支援サービスの利用の仕方、利用目的を問う。	
	一般の方も移動支援サービスを利用できるのか問う。	
	移動支援サービスの運転手になるために必要な資格はあるのか問う。	
	運転手に払われる賃金の算出のされ方を問う。	
	運転手に配られる備品等はあるのか問う。	
	今後このサービスを窪川エリアでも発展させていく考えはあるのか問う。	

議席 番号	5	受付 番号	8	令和 6 年 6 月 3 日 午前 11 時 18 分 受 付
----------	---	----------	---	------------------------------------

令和 6 年 6 月 3 日

四万十町議会議長 味元 和義 様

四万十町議会議員 堀本 伸一

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
文化的施設の中止について	1. 文化的施設建設をめぐる一連の事項について、町長の政治姿勢を確認する。本年3月定例会にて正式に町長より、この施設工事中止の報告があり陳謝のことばがあった。その内容は関係機関の方々に対しての陳謝であり、町民全体を意味していないのでは無いか町長の心理を確認する。	町 長 教育長
	2. 令和4年11月29日に町民（未来を考える会）より文化的施設整備事業の一時休止を求める請願書が3595筆の署名を添えて町長宛に提出されたが、事情を示し、不問に付されてきた。 さらに、令和5年7月24日には同団体より、この施設の規模縮小を求める内容で（住民投票）条例制定請求の交付申請を行い、町長はこれを承諾している。この時点で町長は今後の町政をどう読んできたのか伺う。	
	3. 同じく、令和5年7月24日に請負業者に対し入札の告示を行い、町民の（直接請求）署名活動と並行して1カ月後に落札（仮契約）までを進めている。町長はこの時点で町民の署名活動は、法的要件を達成しないと判断しての行動か、自治体のトップとして通常ではあり得ない行政手続きと思うが真意を確認する。	
	4. 施設工事の入札公示7月24日より1ヶ月後の8月24日に落札（仮契約）までを整え9月定例会で住民の直接請求を町長の再議権行使により廃案とした。その会期中に工事請負契約の議案が提出され、これを議会が否決したものである。町長はこれまでの経緯、状況を踏まえ、安易に議案が（可決）される自信を持つての提案だったのか真意を伺う。	
	5. 令和4年12月定例議会では資材の価格高騰による増額費用、約8億円の継続費が提案され、議会は修正動議を提出したが7対6の1議員差で議案が（可決）されるなど、住民を代表する議員もまさに二分する状態であったことや、2人の議員が欠席での採決結果であった事、さらに、年明け1月には議員の新組織を決める選挙が控えている状況のなかでの重要予算の採決である。この行為が違法ではなくても内部議論や議長に対して何か見解を求めた事実があったのか伺う。	